

2022～2031年度の連系線の運用容量 (年間・長期)

2022年3月1日

1. 2022年度の年間運用容量
2. 2023年度の年間運用容量
3. 特殊日の運用容量
4. 2024～2031年度の長期運用容量
5. 全国系統の運用容量（2022年度8月平日昼間帯）

1. (1) 2022年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	544(②) 【475(④)】	499(②) 【509(②)】	544(②) 【394(②)】	【589(②)】	【509(②)】	555(①) 【514(②)】	534(②) 【399(②)】	509(②) 【365(①)】	540(①) 【494(②)】	459(②)	544(②)	519(②) 【395(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	58(④)	52(④)	73(④)	103(④)	116(④)	前半105(④) 【0(①)】 後半87(④)	68(④)	前半77(④) 後半83(④)	96(④)	104(④)	87(④)	前半75(④) 後半67(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④) 【130(④)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	130(④) 【130(④)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	179(④)	169(④) 【150(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【300(④)】 後半190(②) 【204(④)】	【173(④)】	前半 【190(④)】 後半190(②) 【196(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	130(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	179(④)	169(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	430(③) 【395(③)】	430(③)	440(③) 【278(①)】	455(③) 【278(①)】	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③) 【329(①)】	420(③) 【329(①)】	440(③)	455(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【118(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【115(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	219(④) 【219(④)】	214(④) 【214(④)】	224(④)	241(④)	247(④)	前半241(④) 後半231(④)	220(④)	前半229(④) 後半233(④)	244(④)	275(④)	254(④)	前半251(④) 後半234(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	10(④)	20(④)	23(④)	前半18(④) 後半15(④)	8(④)	前半11(④) 後半12(④)	17(④)	18(④)	11(④)	前半12(④) 後半10(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (2) 2022年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	529(②) 【470(④)】	464(②) 【489(②)】	519(②) 【369(②)】	【544(②)】	【469(②)】	540(①) 【484(②)】	514(②) 【379(②)】	489(②) 【355(①)】	519(②) 【454(②)】	509(②)	530(①)	494(②) 【380(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【90(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【90(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	86(④)	77(④)	86(④)	111(④)	110(④)	前半108(④) 【0(①)】 後半98(④)	97(④)	前半107(④) 後半108(④)	117(④)	132(④)	125(④)	前半118(④) 後半108(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②) 【191(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【236(④)】 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半【210(②)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	70(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	430(③) 【395(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	195(④) 【195(④)】	184(④) 【184(④)】	192(④)	206(④)	204(④)	前半206(④) 後半194(④)	190(④)	前半203(④) 後半202(④)	215(④)	237(④)	230(④)	前半221(④) 後半206(④)
	九州向	30(④) 【20(④)】	26(④) 【16(④)】	28(④)	36(④)	39(④)	前半39(④) 後半35(④)	35(④)	前半39(④) 後半40(④)	43(④)	45(④)	43(④)	前半42(④) 後半38(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (3) 2022年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(④)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(④)】	90(①) 【60(④)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	519(②) 【529(②)】	499(②)	544(②) 【394(②)】	【589(②)】	【589(②)】	555(①) 【514(②)】	439(②)	509(②) 【365(①)】	540(①)	459(②)	544(②)	519(②) 【400(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	32(④)	30(④)	41(④)	70(④)	81(④)	前半72(④) 後半57(④)	40(④)	前半47(④) 後半54(④)	71(④)	76(④)	58(④)	前半52(④) 後半46(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	133(④)	131(④) 【111(④)】	152(④)	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半【156(④)】	【133(④)】	前半【142(④)】 後半【153(④)】	188(④)	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	133(④)	131(④) 【0(①)】	152(④)	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半【0(①)】	【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	188(④)	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	430(③) 【405(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【107(④)】 後半120(①) 【103(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	182(④) 【182(④)】	174(④) 【174(④)】	185(④)	202(④)	213(④)	前半212(④) 後半193(④)	187(④)	前半193(④) 後半199(④)	207(④)	217(④)	210(④)	前半210(④) 後半201(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	3(④)	13(④)	16(④)	前半11(④) 後半8(④)	2(④)	前半4(④) 後半6(④)	13(④)	11(④)	5(④)	前半7(④) 後半5(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (4) 2022年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(④)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(④)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(④)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】
	東京向	504(②) 【514(②)】	464(②)	519(②) 【369(②)】	【544(②)】	【549(②)】	540(①) 【484(②)】	419(②)	489(②) 【355(①)】	519(②)	509(②)	530(①)	494(②) 【380(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【90(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【120(③)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【90(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	62(④)	55(④)	60(④)	83(④)	84(④)	前半86(④) 後半79(④)	78(④)	前半87(④) 後半95(④)	108(④)	120(④)	112(④)	前半99(④) 後半83(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	175(④)	165(④) 【157(④)】	174(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半【191(④)】	【190(④)】	前半【202(④)】 後半【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	175(④)	165(④) 【0(①)】	174(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半【0(①)】	【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	430(③) 【405(③)】	430(③)	440(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③) 【405(③)】	420(③)	445(③) 【329(①)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70①】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	171(④) 【171(④)】	162(④) 【162(④)】	170(④)	180(④)	184(④)	前半184(④) 後半175(④)	167(④)	前半175(④) 後半181(④)	199(④)	208(④)	205(④)	前半205(④) 後半188(④)
	九州向	23(④) 【15(④)】	21(④) 【12(④)】	22(④)	29(④)	32(④)	前半30(④) 後半30(④)	29(④)	前半34(④) 後半37(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (1) 2023年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	534(②) 【400(①)】	524(②)	524(②) 【460(①)】	【564(②)】	【579(②)】	459(②) 【399(②)】	359(②)	424(②) 【284(②)】	454(②) 【439(②)】	459(②)	504(②)	434(②)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	58(④)	51(④)	73(④)	103(④)	116(④)	前半105(④) 【0(①)】 後半87(④) 【0(①)】	68(④)	前半77(④) 後半83(④)	96(④)	104(④)	87(④)	前半74(④) 後半67(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【150(④)】	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	【130(④)】	160(④) 【160(④)】	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	179(④)	169(④)	190(②) 【178(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 【300(④)】 後半190(②) 【204(④)】	【173(④)】	前半【189(④)】 後半【195(④)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②) 【190(②)】
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	160(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	179(④)	169(④)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③) 【329(①)】	440(③)	445(③) 【278(①)】	455(③)	455(③)	前半455(③) 【329(①)】 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 【405(③)】 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【118(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	219(④) 【219(④)】	214(④) 【214(④)】	224(④)	240(④)	247(④)	前半241(④) 後半230(④)	219(④)	前半228(④) 後半233(④)	244(④)	274(④)	253(④)	前半251(④) 後半233(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	10(④)	20(④)	23(④)	前半19(④) 後半15(④)	8(④)	前半11(④) 後半12(④)	17(④)	18(④)	11(④)	前半12(④) 後半10(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (2) 2023年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	499(②) 【355(①)】	489(②)	489(②) 【415(①)】	【529(②)】	【544(②)】	424(②) 【364(②)】	404(②)	489(②) 【320(①)】	504(②) 【439(②)】	509(②)	570(①)	495(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【150(④)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	85(④)	77(④)	86(④)	111(④)	110(④)	前半108(④) 【0(①)】 後半98(④) 【0(①)】	97(④)	前半107(④) 後半108(④)	117(④)	132(④)	125(④)	前半118(④) 後半108(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【207(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 【236(④)】 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半【210(②)】 後半【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	195(④) 【195(④)】	184(④) 【184(④)】	192(④)	206(④)	203(④)	前半205(④) 後半194(④)	190(④)	前半202(④) 後半202(④)	215(④)	237(④)	230(④)	前半220(④) 後半206(④)
	九州向	30(④) 【20(④)】	26(④) 【16(④)】	28(④)	36(④)	40(④)	前半39(④) 後半35(④)	35(④)	前半39(④) 後半40(④)	43(④)	45(④)	43(④)	前半42(④) 後半38(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (3) 2023年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	534(②) 【400(①)】	524(②)	539(②) 【464(②)】	【559(②)】	【579(②)】	459(②) 【494(②)】	359(②)	424(②) 【339(②)】	454(②)	459(②)	504(②)	434(②)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	32(④)	30(④)	41(④)	70(④)	81(④)	前半72(④) 後半57(④) 【0(①)】	40(④)	前半47(④) 後半54(④)	71(④)	75(④)	58(④)	前半52(④) 後半45(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	133(④)	131(④)	151(④) 【132(④)】	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半172(④) 【156(④)】	【133(④)】	前半【142(④)】 後半【152(④)】	187(④) 【174(④)】	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	133(④)	131(④)	151(④) 【0(①)】	189(④)	190(②)	前半190(②) 後半172(④) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	187(④) 【0(①)】	190(②)	174(④)	前半164(④) 後半156(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【100(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	182(④) 【182(④)】	173(④) 【173(④)】	185(④)	201(④)	213(④)	前半212(④) 後半193(④)	186(④)	前半193(④) 後半199(④)	207(④)	217(④)	210(④)	前半210(④) 後半200(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	3(④)	13(④)	16(④)	前半11(④) 後半8(④)	2(④)	前半4(④) 後半6(④)	13(④)	11(④)	5(④)	前半7(④) 後半5(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (4) 2023年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW 10

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	499(②) 【355(①)】	489(②)	504(②) 【429(②)】	【524(②)】	【544(②)】	424(②) 【459(②)】	404(②)	489(②) 【320(①)】	504(②)	509(②)	570(①)	495(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(④)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	62(④)	54(④)	60(④)	82(④)	84(④)	前半86(④) 後半79(④) 【0(①)】	78(④)	前半87(④) 後半95(④)	107(④)	120(④)	112(④)	前半99(④) 後半83(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	174(④)	165(④)	173(④) 【166(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【191(④)】	【190(④)】	前半【202(④)】 後半【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	174(④)	165(④)	173(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半440(③)	440(③)	440(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	171(④) 【171(④)】	162(④) 【162(④)】	169(④)	180(④)	184(④)	前半184(④) 後半175(④)	167(④)	前半174(④) 後半181(④)	199(④)	208(④)	205(④)	前半205(④) 後半188(④)
	九州向	23(④) 【15(④)】	21(④) 【12(④)】	22(④)	29(④)	32(④)	前半30(④) 後半30(④)	29(④)	前半34(④) 後半37(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

3.特殊日の運用容量

2022年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線*1	東京向	昼間帯	427(①)	-	-
中部関西間連系線*2	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	99(④)	57(④)
		夜間帯	49(④)	101(④)	107(④)
北陸フェンス*2	中部・関西向	昼間帯	125(④)	190(②)	167(④)
		夜間帯	158(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*2	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線*2	中国向	昼間帯	171(④)	244(④)	195(④)
		夜間帯	158(④)	196(④)	188(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	22(④)	8(④)
		夜間帯	19(④)	36(④)	41(④)

2023年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線*1	東京向	昼間帯	401(①)	-	-
中部関西間連系線*2	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	99(④)	57(④)
		夜間帯	49(④)	101(④)	107(④)
北陸フェンス*2	中部・関西向	昼間帯	125(④)	190(②)	167(④)
		夜間帯	158(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*2	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線*2	中国向	昼間帯	171(④)	243(④)	194(④)
		夜間帯	157(④)	195(④)	188(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	22(④)	8(④)
		夜間帯	19(④)	36(④)	41(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

各連系線の特殊日(GW・盆・年末年始)の設定日と運用容量は、別紙2及び系統情報サービス参照。

*1 特殊日：平日・休日の運用容量を不要に減少させないよう、東北エリアの需給バランス(低需要・再エネ高稼働)から下げ代不足が想定される日に限定して設定するもの。

*2 特殊日：平日・休日の運用容量を不要に減少させないよう、受電側エリアの需要が休日よりも低下すると想定される日に限定して設定するもの。

4.2024～2031年度の長期運用容量

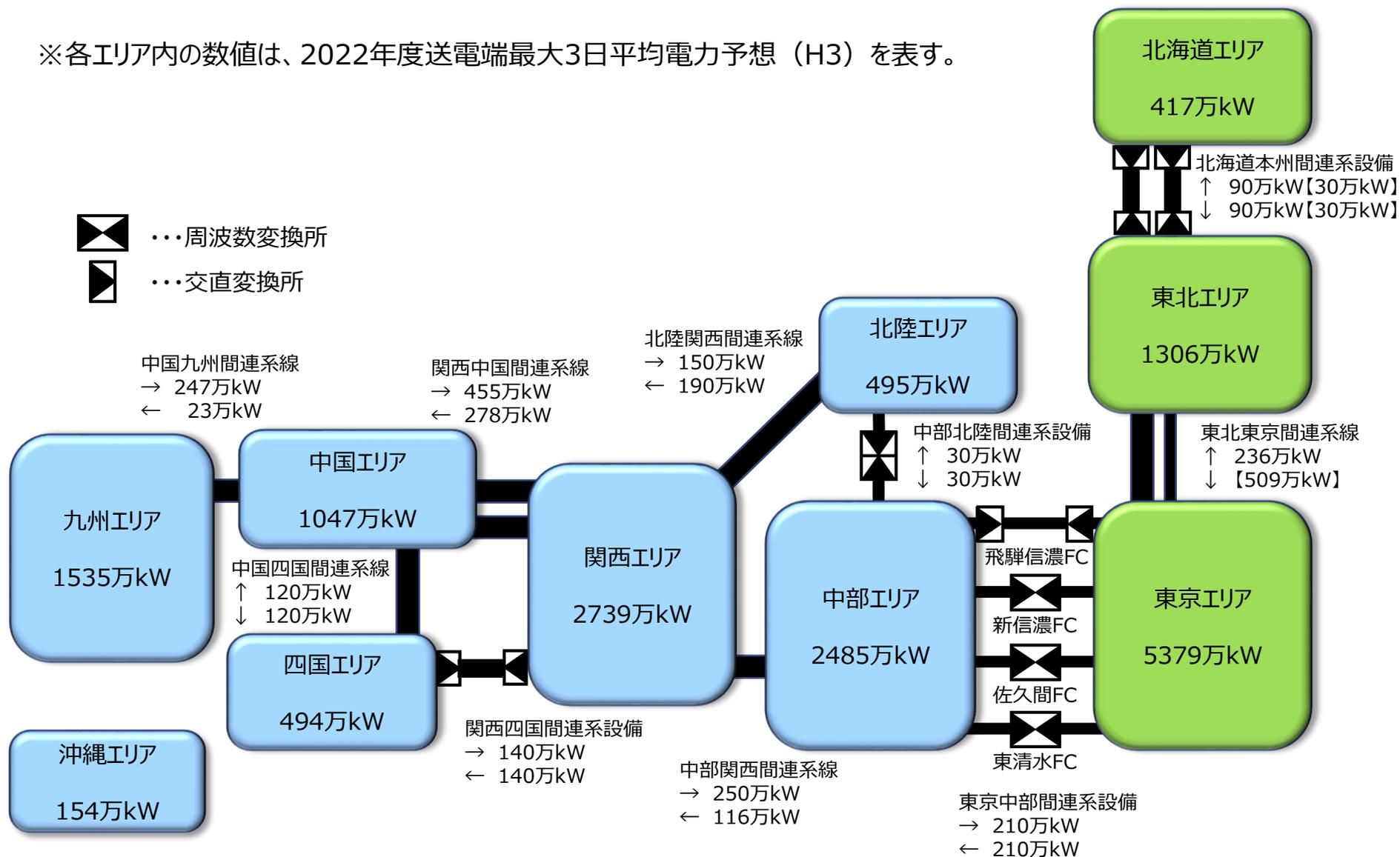
単位：万kW

連系線	潮流方向	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
北海道本州間連系設備 ¹⁾	北海道向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
東北東京間連系線 ²⁾³⁾	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) ²⁾	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)
	東京向	555(②)	555(②)	555(②)	555(②) ³⁾	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)
東京中部間連系設備 ⁴⁾	東京向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部関西間連系線	中部向	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】
	関西向	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】	134(④) 【25(④)】
北陸フェンス	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	中部・関西向	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	関西向	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】	190(②) 【125(④)】
関西中国間連系線	関西向	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)	455(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】	278(①) 【157(④)】
	九州向	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される値を示す。

- 1) 2027年度に北海道本州間連系設備30万kWの増強を予定。
- 2) 2027年第二連系線運開後は、631万kW(相馬双葉幹線1回線熱容量相当)になる見込み。
- 3) 2027年第二連系線運開後は、1028万kW(東北東京間連系線に係る広域系統整備計画に基づく)になる見込み。
- 4) 2027年度に東京中部間連系設備90万kWの増強を予定。

※各エリア内の数値は、2022年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。



【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。